
東北大学陸上競技部

OB・OG通信

2017年No. 5 (2017. 10)

- ・ 秩父宮賜盃第 49 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会
兼第 35 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会
…男子優勝！5 年連続、全日本大学駅伝出場！！
 - ・ 天皇賜盃第 86 回日本学生陸上競技対校選手権
…宮崎 幸辰(M1)、酒井 洋輔(3)、楠 哲也(3)、中村 真璃子(3)、
松浦 崇之(2)、立野 佑太(2) の 6 名が出場！
 - ・ 第 32 回国公立 26 大学対校陸上競技大会
…男子総合 14 位、女子総合 6 位！
 - ・ 女子走高跳で中村 真璃子(3)が 162 cm、部記録更新！！
女子 400m で佐貫 有彩(2)が 56 秒 78、部記録更新！！
女子 100mH で泉屋 咲月(1)が 16 秒 12、部記録更新！！
-

- ・ 秩父宮賜盃第 49 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区選考会
兼第 35 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区選考会 2～3 ページ
- ・ 天皇賜盃第 86 回日本学生陸上競技対校選手権 3～5 ページ
- ・ 第 32 回国公立 26 大学対校陸上競技大会 5～13 ページ
- ・ OB・OG 対現役対抗戦 14～18 ページ
- ・ 秋保マラソンのご案内 19 ページ
- ・ 自己ベスト更新者 20 ページ
- ・ 今後の予定 20 ページ
- ・ 編集後記 20 ページ

清秋の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では、秩父宮賜盃第 48 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会兼第 34 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会の結果と、第 31 回国公立 26 大学対校陸上競技大会の結果を中心に、各大会における選手の活躍をお伝えします。

◎秩父宮賜盃第 48 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会兼第 34 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会(9/12)・宮城県総合運動公園(宮城)

今年は開催地が岩手県の北上に移り、男子は 15km・10km のロードレースで、女子は 5km、4km、6km の駅伝形式で、合計タイムを競いました。当日はとても走りやすい天候で、男子チームは堅実な走りを見せて優勝し、5 大会連続 12 回目の本大会出場を勝ち取りました。女子チームも男子に負けじと健闘し全日本大学女子駅伝への出場はなりませんでしたが、昨年より順位を 1 つ上げ、3 位となりました。リザルトと長距離 PC からの全日本大学駅伝への抱負を紹介します。

・男子対抗戦結果

順位	大学	記録
1 位	東北大学	5 時間 18 分 46 秒
2 位	東北学院大学	5 時間 30 分 04 秒
3 位	仙台大学	5 時間 31 分 10 秒

・女子対抗戦結果

順位	大学	記録
1 位	東北福祉大学	1 時間 42 分 26 秒
2 位	石巻専修大学	1 時間 45 分 17 秒
3 位	東北大学	1 時間 55 分 52 秒

	氏名 (学年)	記録
15km	高橋 佳希(M2)	46'43"
	松浦 崇之(2)	49'04"
	斎藤 寛峻(D2)	49'15"
	本田 雄生(M1)	49'23"
10km	酒井 洋輔(3)	31'46"
	南雲 信之介(6)	31'59"
	笠間 淳平(3)	32'14"
	早坂 謙児(M1)	32'26"

	氏名 (学年)	記録
5 km	阿部 春花(3)	18'54"
4 km	星屋 美優(3)	16'20"
6 km	宮間 志帆(M2)	21'43"
5 km	須田 桜 (3)	17'53"
4 km	橋本 悠美(1)	15'52"
6km	梶山 梓(6)	25'08"



▲15km の部で優勝した高橋(M2)



▲女子の部のスタート直前の様子

〈全日本大学駅伝の抱負〉

こんにちは。長距離男子 PC の上條です。この度 9 月 14 日(木)に行われた東北地区予選会を突破し、5 年連続 12 回目の本戦出場を決めることができました。予選会では 2 位に 11 分以上の大差をつけての圧勝、総合タイムも去年より 10 分ほど縮めたということで例年以上にチームの実力がついてきていることを感じています。今年はトラックレースで自己ベストを更新するメンバーが多く、5000m, 10000m の平均タイムはここ最近では一番レベルが高くなっています。今年の本戦での目標は部記録の更新です。ここまでの結果を見ると十分に現実味を帯びてきています。また、現行の区間で行われる最後の大会ということでいつも以上に記録を意識しています。今シーズンの勢いと強い気持ちをもって、ラストチャンスで部記録の更新を狙います。

東北大学学友会陸上競技部長距離 PC 上條 広裕希

◎天皇賜盃第 86 回日本学生陸上競技対校選手権 (9/2~4)

・福井運動公園陸上競技場(福井)

各地区の予選を勝ち抜いた選手やハイレベルな参加標準記録を突破した選手など全国の猛者が集うこの大会に、我が校からも 6 名の選手が出場権を獲得し、5 名の選手が出場しました。リザルトと選手の感想を紹介します。

男子 100m 200m

・宮崎 幸辰 (M1)	100m	予選	5 組 1 着	10"26(+3.3)
		準決勝	1 組 3 着	10"35(+2.9)
	200m	予選	3 組 5 着	21"86(-0.2)

日本インカレ感想と今後を見据えて

宮崎幸辰

「9 月 8~10 日に開催された日本インカレに、100 m と 200 m にそれぞれ出場してきました。100 m は準決勝敗退、200 m は予選敗退という結果でした。

今季は例年よりもタイムは高水準だったものの、勝ち切れず、気持ちよく走れず、調子が悪い状態でした。それを打開するために日本インカレ前の調整を従来の内容から一新させた練習を行い、逆転を狙いました。結果、ようやく満足できる今季最高の走りができましたが、専門的な調整不足のため、負けてしまいました。最近では、下の世代のレベルが非常に高くなり、その波に乗れていないのが現状です。更なるレベルアップが今後の鍵であるのは間違いありません。そのためにはオリジナリティがより強く表現できるスタイルを考えなければなりません。未だそのインスピレーションが湧いてきません。これを乗り越えられれば更に速くなり、乗り越えることができなければそれまでの器だったということだと考えています。」

と、東北大学 OBOG 通信を通じて、コメントを発表した。予選では組 1 着となり、2 大会連続の決勝進出を目指したが、0.04 秒差で進出を逃した。今シーズンの残りのスケジュー

ルについては、

「国体で高いパフォーマンスを発揮するために、今季最後の対抗戦を欠場します。追い風はありましたが、2台と3台を連続で出した負荷が思ったより体にきています。回復させつつ、じっくりと調整を行っていく予定です。国体で表彰台、あるいは優勝することを考えた戦略を練っています。」

今季はここまで4勝を挙げており、2年連続3回目の国体出場や来年の全日本出場をつかんでいるなど、悪くない仕上がりをみせるも、全国クラスの大会では決勝進出を逃している。

男子 5000m

・酒井 洋輔(3) 14'56"32 26着

初の全国大会の舞台ということで、前々から気合を入れて準備を進めてきました。それでも、私大の選手と比べての自分の実力不足は明らかでした。

最初の1000mはオーバーペースになることは予想できました。そのため、ハイペースで入っても、自分のレースを組み立てることを目標に、レースに臨みました。結果は14分56秒32で、1000mごとのラップは2'52"、3'01"、3'03"、3'03"、2'55"でした。最初の1000mは余裕を持って入ったつもりでしたが、中盤垂れてしまいました。やはり全国の舞台で戦うには、最低でも2'55"前後で安定して押せる力は必須であると実感しました。そしてその力はまだ自分にはありません。

今回、全国の選手のレベルを体感できる機会を得ました。これからそのレベルを意識して練習し、生活を送りたいと思います。応援ありがとうございました。

男子 10000m

・松浦 崇之(2) 31'50"11 27着

この度、東北インカレに優勝し、C標準にて、9月8日～9月10日に行われた全日本インカレの10000mに出場させていただきました。

まず、結果としては、31'50"11で27位でした。完走した選手の中では、後ろから2番目でした。東北の代表として出場しましたが、全く自分の走りが出来ず情けない結果になってしまいました。自分の実力のなさ、東北と他の地区の実力の差を痛感しました。

しかし、今までにないとてもいい経験になりました。全国レベルの大会の雰囲気、レースなどを学部2年生というまだ次があるうちに経験することによって、これからの課題、練習の見通し、目標を見つけることが出来ました。

また、10000mには、同じ七大学の東京大学から近藤秀一さんが出場し、29'26"99の14位という素晴らしい結果を残しました。同じ七大学に、このような選手がいることは、私自身、今の環境を言い訳にはいけないと痛感しました。今まで以上に工夫をして、自分の力で環境を変えていけるよう努力していきます。

もし私が、大学院に進学するのであれば、全日本インカレという舞台へあと4回のチャンスがあります。これから、大きな目標に向けて、妥協することなく、現状に満足せず常に上を目指して練習に励んでいきます。

最後に、応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

男子 3000mSC

・立野 佑太 (2) 9'38"66 10 着

9月8日から10日に行われた日本学生陸上競技対校選手権大会に3000mSCで出場しました。結果は9'38"66の予選二組10着でした。最初の1km以降のペースアップについていけず、レベルの違いを実感しました。貴重な経験になったので、来年は同じレベルで競技できるように練習に励みたいです。

女子走高跳

・中村 真璃子(3) NM

今年の東北インカレで優勝し、C標準突破というかたちで日本インカレに出場しました。高校時代にインターハイに出場できず、その悔しさから続けていた陸上競技でしたが、まさか本当に全国大会に出れるなんて夢にも思っていませんでした。私の申請記録は全国大会に出場するにはあまりにもレベルの低いものでしたので恥ずかしさもありました。ですがせっかく掴んだ全国大会だったので、挑戦者のつもりで楽しんで跳ぶこと、そして記録を残すこと、を目標に出場することを決めていました。

結果は悔しくも記録なしでしたが、大学に入ってから1番いい跳躍ができたと思います。全国の舞台でいい跳躍ができたことは私にとって大きな自信になりました。

来年は必ずB標準を突破し、周りの選手と戦える選手になって、もう一度日本インカレに出場します。そのために今まで以上に練習に力を入れていこうと思います。

たくさんの方に応援していただけて本当に嬉しかったです。来年こそ、その応援に応えられるよう頑張ります。応援ありがとうございました。

男子円盤投

・楠 哲也(3) DNS

◎第32回国公立26大学対校陸上競技選手権大会(9/15~17)

正田醤油スタジアム群馬・(群馬)

去年に引き続き、26大学による対校戦となった今大会。東北大学の選手たちは夏の練習の疲労のせいもあってか、昨年に比べると全体的にやや劣る結果となりました。対校戦に出場した選手たちの観戦記を掲載します。

男子100m タイムレース決勝

7組6着 大衡竜太(4) 11"48(-1.4)

スタートから体が動いていなかった。その焦りからか中盤以降も動きが固くなってしまい十分な加速ができず、良いところなく6着に終わった。

10組3着 藤井佳祐(4) 10"89(-1.0)

雨の中のレース、スタートの反応が周りと比べ、悪いように見えた。そのため、序

盤は周りに置いていかれる形のレースであった。しかし、得意の中盤からの加速がしっかり出来ており、最後は3位でのゴール。タイムも全体の3番であった。

女子100m タイムレース決勝

4組7着 佐貫有彩(2) 13"09(-0.3)

スタートですぐ起き上がってしまい、前半で出遅れる。後半もスピードが上がらず、7着でゴール。

男子200m 予選

4組3着 白鳥海知(3) 22"84(-0.6)

コーナーでの大きな走りでアウトレーンを抜きストレートでピッチを刻むのがいつもの走りだが、今回は一つ外が速くて抜けず、競ろうとした結果硬い走りをしてしまった。後半もその走りを切り替えられずにずるずると失速した。あらかじめ相手の実力を把握した上で試合イメージを組み立てる必要があるようだ。

7組6着 堀越涼(3) 23"08(-1.2)

スタートしてすぐに体が起きてしまい失速。カーブを抜けてから前に食らいつこうとするも足が流れ上手くスピードに乗れず、そのまま6位でゴール。

女子200m 予選

2組3着 佐貫有彩(2) 26"48(-0.5)

スタートは良かったが、コーナーを出てからうまくスピードに乗れなかった。直線で前の選手に引き離され、3着でゴール。

女子200m 準決勝

2組4着 佐貫有彩(2) 26"26(-1.1)

スタートで出遅れすぐに内側の選手に追いつかれる。直線に入ってから走りへのびがなく、前との差は縮まらなかった。

男子400m 予選

2組5着 井戸端佑樹(1) 51"83

七大戦の様な前半から突っ込む走りが出ていた様に見えたが、風の影響もあったか、全体的に身体の乗り込みが不十分で前半から脚だけの走りになり、後半減速してしまった。そこで外側に大きく離され、そのまま後半巻き返せず、5着でゴール。

6組7着 竹原大(M2) 54"67

スタートから身体を起こすときに強い向かい風に襲われ、バックストレートではかなり苦しそうだった。150m付近でインレーンに並ばれそこからじわじわ差を広げられた。300mでは周りに2、3秒ほど差をつけられ、7着でゴール。全体的に動きが固かった。

9組5着 岩波発彦(3) 52"71

7レーンからスタート。バックストレートの強い向かい風を受けながらも積極的な走りで外側の選手を先行する。200m通過は先頭付近であったが、後半疲れが見られラストも粘ることが出来ずに失速し5着。

女子400m 予選

1組5着 佐貫有彩(2) 57"52

スタートでやや出遅れるが、100m～300mにかけてリラックスした走りで徐々に前との差を詰めていった。ホームに入った段階で2番手でそのままゴールした。

3組5着 佐久間美帆(1) 65"39

バックストレートの風が強く前半の200mで体力を大きく消耗。ラスト100mでの切り替えがなく、そのまま失速してゴール。

女子400m 決勝

3着 佐貫有彩(2) 56"78

スタートで出遅れ、100mほどで1つ内側の選手に追いつかれる。途中まで内側の選手についていき、外側の選手を抜かしていき、ホームに入った段階で3番手につける。ラストの50mで追い上げるも前の2人を抜かせず、3着でゴール。

男子800m 予選

1組2着 佐藤宏夢(3) 1'59"57

落ち着いたスタートから集団の後方につく。外側から前に出ようとするもうまく出られず、集団の中盤で400mを61秒で通過。その後500mから徐々にペースが上がる中で2番手に上がり、スピードを落とすことなく2着で準決勝に進出した。

3組2着 川口航汰(3) 1'59"93

最初の200mで4番目の位置についた。ホームストレートで徐々に位置を上げ、500m地点で先頭に立った。そのままレースを展開しラスト力を抜いて2着でゴールした。

5組3着 宇梶和希(2) 1'58"22

ブレイク後、ほかの選手が先頭に出る気配がなかったので先頭に出る。先頭で集団

を引っ張りながら 400m を 58 秒で通過した。バックストレートで後方から上がってきた選手に並ばれ、600m 付近で 2 人の選手に抜かれる。抜かれた後は前の選手についていくも抜くことはできずにそのまま 3 着でゴール。プラスで準決勝に進出した。

男子800m 準決勝

1組5着 佐藤宏夢(3) 1'56"35

落ち着いたスタートから集団の後方につく、速いペースの中で 400m 通過付近で 5 番手ほどにあがり、1 周目を 57 秒で通過。バックストレートで徐々にポジションを上げて 7 二番手に付け、残り 200m を迎えるも、最でのゴールとなった。

2組1着 川口航汰(3) 1'54"59

最初の 200m で先頭から 2 番目の位置についた、そのままのペースを維持して 400m を 56 秒で通過し、500m までその位置をキープした。その後スパートをかけ先頭を抜き 1 着でゴールした。

3組5着 宇梶和希(2) 1'58"78

少し速めのペースでスタートし、ブレイク後集団の後方に着く。300m 付近で集団の外側に出るも前には追い付けず、そのまま 400m を 57 秒で通過。500m 付近でスピードを上げようとするも外から来た選手と接触し出遅れ、スパートをかけるも前に追い付かず、徐々に離されて 5 着でゴール。

男子800m 決勝

5着 川口航汰(3) 2'00"28

最初の 200m で先頭についた。スローペースのまま先頭で集団を引っ張り 64 秒で 400m を通過した。500m から徐々にスピードを上げてゆきラスト 50 メートルまで 1 着で走っていたが、その後後続の選手たちに抜かれ 5 着でゴールした。

女子800m 予選

2組2着 上條麻奈(2) 2'28"29

落ち着いた入りで先頭集団に付く。そのまま先頭を維持し 400m を 73 秒で通過、

550m 付近でペースをあげる。ラスト 100m まで先頭をキープし、ラスト 100m で後続の選手が前に出て来るが、無理な加速はせず 2 着でゴールした。

4組4着 加藤ひより(1) 2'29"13

スタートで出遅れ、集団の中盤に着いた。300m 付近から集団の外側にでて集団の前方に着く、バックストレートでスピードを上げてゆき、残り 200m で先頭集団に追い付くも、前の選手に離され 4 着でゴール。

女子800m 準決勝

1組5着 加藤ひより(1) 2'28"18

スタートから先頭集団のペースに着いていけず、200m 通過から先頭集団に離され 5 番目の位置に着いた。2 周目に入りピッチが落ち、6 位との差が広がるも最後まで順位は変わらず 5 着でゴールした。

2組2着 上條麻奈(2) 2'22"93

ゆったりしたペースでスタートしブレイク後に先頭集団の後方に着く。300m 付近から集団の外側に出て、ホームストレートで徐々に順位を上げていき、先頭と並んだところで 400m を 71 秒で通過。550m 付近からペースを上げ先頭に立ち、700m まで先頭をキープするが、最後の直線で後続の選手に 1 人抜かれ、そのまま 2 着でゴールした。

女子800m 決勝

2着 上條麻奈(2) 2'15"56

スタート後は位置取りの失敗を防ぐために先頭にでた。そのまま集団を引っ張り、400m を 67 秒で通過した。500m 付近で後続の選手に抜かれ、付いていくことが出来ないまま、残り 100m で大きく離されそのまま 2 着でゴールした。

男子1500m 予選

1組9着 瀬木悠(1) 4'16"74

スタートから先頭集団の外側の好位置着ける。4 分 10 秒ほどの遅いペースだった。700m まで 3 番手の位置についていたが、ここで先頭と離れてしまい、その後先頭に追

い付くも、1000m付近で再び先頭集団から離れてしまった。ラスト 300m でペースが落ちてしまい、最後は 9 着でゴールした。

3組14着 高橋慧伍(M2) 5'01"73

ややスローな展開となり集団の後方でレースを進める。2 周目以降のペースアップについていけず、徐々に離され、最後は jog のようなペースでゴールとなってしまった。

4組6着 松田将大(3) 4'09"88

スタート直後は位置取り争いを避けて最後尾へ付け、そこから直線に入るごとに徐々に順位を上げる。集団中盤で 1000m を 2'49 で通過し、ラスト 1 周でスパートをかけ始める。バックストレートで 2 番手まで順位を上げたがラスト 150m からのスパートに付いていけず順位を落とし 6 着。

女子1500m 予選

1組7着 飯田夏生(3) 5'02"56

スタート後、集団の中盤につく。600m 通過した辺りで徐々に集団が崩れていったが、先頭集団の後ろに着いた。1000m 通過後、先頭集団のスパートに対応できずに離される。ラスト 250m で第 2 集団の前に出るが、ラストの直線で後続に抜かれ 7 着でゴール。

2組1着 上條麻奈(2) 5'00"71

一番内側からのスタートで集団に飲み込まれるも、200m 付近で先頭の後ろに付いた。800m 付近で先頭に出てそのまま無理のないペースを保ち 1 着でゴールした。

女子1500m 決勝

1着 上條麻奈(2) 4'46"14

予選の反省を生かし、スタートから 2 番手に付きそのままレースを進める。残り 1 周で後ろから出てきた選手に反応し、先頭に立ちそのまま 1 着でゴールした。

9着 飯田夏生(3) 5'01"16

スタート後から集団の後方に着く、600m 地点から徐々に集団から離されてゆき最後尾になるが、ラスト 300m で集団から離れてきた選手を 2 人抜き 9 着でゴールした。

男子5000m 決勝

1組7着 堀拓磨(2) 16'04"64

序盤 800m ほど先頭を引いたが、それから順位を下げ 2 位についた。そこではどうにか粘り、3000m 通過くらいまでは維持した。そこから他大の選手たちが先頭に出たため、一定で落ちていたペースが上がり、先頭集団から離れてしまった。結果、そのままの状態ゴール。心肺的にも精神的にも課題が残る結果となった。

1組19着 三浦慧士(1) 16'39"16

スタート後集団の後方につく。1000m 付近で集団から離れ始め、同じく集団から遅れた数人とレースを進める。前の集団から遅れてきた選手を数人抜かすも、3000m 付近とともに走っていた集団から遅れ始める。そのまま一人でレースを進め、ラストスパートもペースを上げきれず組 19 着でゴール。

2組19着 南雲信之介(6) 15'25"52

台風の影響で番編が変わり、2 組中 2 組目となったレース。雨の中、33 人という人数でのレースが始まった。3000mSC 同様、スタート直後は飛び出さず、最初の 200m 程度で位置取りをした。5 位集団を引っ張る形で 2800m 過ぎまで推移。新潟大の選手がこれでは遅いと判断したため 3000m 手前で飛び出し、それにつられて他大の選手もペースアップ。私自身はペースアップに着いて行けず(3 分切るくらいまで上がった?)、少しでも上げようともがくも、どんどん後方から抜かれていった。結果的に私自身のペースも上がっていたらしいが、予選会 10km、3000mSC との連戦もありフォームもがむしゃらな感じとなっていた。最終的に、19 着まで落ちたものの、15'25" 52 のシーズンベストを出すことができ、ラップも 03-08-08-04-03 という内容であった。昨年の同時期と同程度まで調子を戻すことができ、中身も良いレースであった。T&F の対抗戦としては最後のレースであり、雨の中でもありまし

たが、始まる前の声かけや集団応援が本当に嬉しかったです。ありがとうございました。今後は全日本大学駅伝での部記録更新に向けて頑張りますので、引き続きの応援よろしくお願い致します。

女子5000m 決勝

6着 須田桜(3) 18'17"30

14着 飯田夏生(3) 19'14"39

飯田は良いスタートを切り第一集団後方につく。須田は抑えて入り一週目を88秒で通過。最初の1000mは須田、飯田共に3分35秒程度。飯田は徐々に集団から離れ、2000m通過で気持ちが切れてしまう。須田は3000m通過まで7、8人で集団走を維持。4000mから徐々に集団から離れ始め、単独走となる。ラスト1000mは、先頭集団から落ちてきた選手と共に走る。ラストスパートで一人振り切るも一人抜かれて6着でゴール。飯田は2000m以降上手く立て直すことが出来ず、ずるずるとペースを落としてしまう。ラスト1000mでややペースアップしたが、そのまま14着でのゴールとなった。

男子110mH 予選

3組2着 工藤翼(4) 15"45(+0.1)

スタートから一線、両隣の選手と終始並び競り合う。集団となり中盤を迎えるも飛び出すことはできず、最後のハードルを終えてゴールまで競り合いがもつれ込むも2着で着順を勝ち取り準決勝に駒を進めた。

4組3着 羽根田佑真(2) 15"83(-0.9)

試合の2週間前にした右足の怪我が心配されたが、出だしは好調であった。6台目を越えたあたりからフォームが崩れ始め、後半の体力不足が目立つ試合となったが、着で準決勝に進んだ。

5組5着 勝井友樹(3) 15"96(-0.7)5着

スタートからやや遅れる。全体として動きにキレがなく後半のスピードの落ちが大きかった。プラスで準決勝進出。

男子110mH 準決勝

1組5着 工藤翼(4) 15"42(+1.1)

スタートで出遅れリードされる。中盤でも動きが固く、浮いたハードリングとなり終始差を広げられるレースとなった。5着に終わり決勝に進むことは叶わなかった。

2組6着 勝井友樹(3) 15"52(+0.2)

スタートから前半はそこそこ走れた。8台目、9台目抜き足を引っ掛けて減速。パツとしないタイムだった。

3組4着 羽根田佑真(2) 15"49(+0.5)

予選のときよりもキレのある走りで後半も大きな失速はなかった。しかしやはり怪我による練習不足のためか、後半の伸びがみられず、結果として自己ベストには及ばない走りであった。

女子100mH 予選

3組6着 泉屋咲月(1) 16"62(-0.2)

自分のレーンに集中できていたが、スタート直後1台目の入りでつまづく。最後までインターバルを3歩で行くことはできたが、スピード感のない走りとなった。アプローチの改善を課題としてもらいたい。

男子400mH タイムレース決勝

4組7着 鈴木景(2) 58"79 7着

スタート～5台目までは快調に走ったが、6台目で17歩となり減速。その8台目で19歩となりさらに減速。ラストはそのスピードを維持しフィニッシュ。怪我による練習不足で、今季ワーストを記録。

5組7着 加地拓弥(1) 63"42

強い雨の中、前半スピードを出し、いいリズムで入れたが、カーブに入ってから失速が大きく、リズムを崩してしまった。結果として足を攣ってしまったが、コンディションが悪い中前半はいい走りがあった。前日のマイルの疲れを残してしまったこと、また、大会前から風邪で体調を崩してしまっていたことが反省点である。

女子 400mH タイムレース決勝

1組 2着 泉屋咲月(1) 1'09"95

1台目の入りはまずまず。5台目までは流れに乗りインターバルを17歩で走ることができた。6台目あたりから疲れが見え始め、失速する。後半で逆足を多用したことも重なり、伸びのある走りが見られなかった。後半の足合わせと体力強化が課題である。

1組 4着 柄澤菜々美(1) 1'18"45

UPで踏切足足首に違和感があった為か力無く浮いて跳んでしまったが、懸念していた風の影響はほぼなかったおかげでバックストレートは持ち堪えた。後半は2ヶ月半振りの400mHでかつ前々日のOP400mの走れなさによる恐怖心か、躊躇って大幅に減速してのハードリングとなってしまい、前日の疲労がみられる試合となった。

男子3000mSC 決勝

3組 8着 南雲信之介(6) 9'30"43

他大の選手との巻き込みを防ぎつつ後方からスタート。最初の水濠前で位置取りを5番手くらいまでに持ってくる。その後は前の4選手に徐々に離されつつも5番手をキープ。呼吸には余裕があったため、心の余裕ももちつつのレースを進めることができた。後半で山梨大の選手に抜かれ6番手に下がり、そこからラスト2周で首都大の選手に抜かれた。最後の障害・水濠でつまづいた部分もあり、横国大の選手にラストでかわされたものの、8位入賞は守ることができ、得点という形で長距離パートとして参加した責任を果たすことができたと思う。東北インカレ時に出した9'37"81の自己ベストから9'30"43まで自己ベストを更新でき、予選会に合わせた調子のままで走ることができた点良かった。応援ありがとうございました。

男子10000mW 決勝

3着 寺島智春(1) 45'52"91

第2集団(3位集団)でレースを進める。

5000m手前で抜け出し単独3位で歩く。そのまま後続を突き放し3位表彰台に輝いた。

11着 森渉(4) 50'58"35

序盤は黒須と2人で最後尾集団でレースを進める。警告が多く出たレースの中で持ち前のフォームの良さを出し、後続から追い上げ11番目のフィニッシュ。

18着 黒須大地(1) 57'29"98

1000m過ぎで森と離れ、独歩となるキツイ状況が続く。しかしフォームを崩さず粘りきり13番目のフィニッシュとなった。

男子4×100mR 予選

1組6着 42"40

倉田(2)-芦田(1)-井戸端(1)-藤井(4)

1走の倉田はスタートの反応は良かったものの動きが硬く、すぐ身体が起きてしまっていた。しかし後半になるとうまくスピードにのり、全体の4番手くらいで2走の芦田へバトンパス。

その芦田は本来のストライドを生かした力強い走りでどんどん加速していき、前との差を縮めた。そして、全体の2番手ほどで3走の井戸端へ

3走の井戸端は、走り自体は本来のポイントを捉えた走りができていた。しかし1時間ほど前に終わった400mの疲れからか、スピードに乗っておらず、4走藤井とのバトンパスでうまく繋がらず、バトンゾーンギリギリでなんとか渡った。

その藤井がうまく加速できていないなか、スピードを上げて行くも前に追いつくことはできず、そのまま6番手でフィニッシュ。

男子4×400mR 予選

3組5着 3'20"31

白鳥(3)-芦田(1)-井戸端(1)-加地(1)

1走の白鳥はスタートで良い反応を見せ150m程までは上位でバトンを運ぶが、遠征と直前にあった200mの影響からか、後半少し疲れが見え全体の5番手で2走の芦田へバトンパス。

2走の芦田は、前半はゆっくりと大きなストライドで進み、グングンと前との差を縮める。後半もその走りを変えず、4着とほぼ差がない状態で3走の井戸端へ。

その井戸端はスタートから持ち前のピッチを飛ばし、前との差を縮める。300mを過ぎると多少疲れが見えてきたが必死に前に食いつき、そのまま5番手で4走の加地へバトンパス。

加地は前半から伸びのある大きな走りで前との差を縮める。コーナーで一気に加速し、300m地点で前を抜き、そのまま4着でフィニッシュ。

女子4×400m 予選

2組 4着 4'04"70

中村(3)-佐貫(2)-泉屋(1)-上條(2)

1走の中村はスタート後前の選手に置いていかれるも、150~300で加速し、順位を上げ、全体の4、5番手ほどでバトンパス。

2走の佐貫は最初の100mで1つ外の選手を抜かすも、その後は前との差がなかなか縮まらず、4番手でバトンパス。

3走の泉屋はバトンパス後勢いよく飛び出す。その勢いのままバックストレートで前との差を詰めていくが追いつかず、4番手でバトンパス。

4走の上條は直前の800mの疲れも感じさせないような安定感のある走りで後続を引き離した。そのまま順位は変わらず、組4着でフィニッシュ。

男子走高跳

5位 山下一也(3) 1m95

190cmから試技を開始。雨の降る気温の低い環境であったため、体の動きが悪く1回目は失敗するも、2回目でクリア。195cmはあまり良い跳躍ではなかったがクリア。200cmは全て踏切で潰れてしまい失敗。練習試技では良い動き、跳躍をしていたが、待ち時間に体の状態を維持することができず記録も残せなかった。

20位 高橋潤(1) 1m75

練習試技と1m75では助走がしっかり走れていて、高さに余裕を残してクリアすることができた。しかし1m80では、雨と寒さで体が冷えてしまったせいか、助走スピードに足が耐えられなくなり、クリアすることができなかった。練習試技、1m75のときの跳躍が1m80でもできていれば、クリアできたはず。

根谷温(3) NM

公式練習のときは、助走も走れていて調子がよさそうだった。しかし、高さが175cmになり、本番の試技が始まると、公式練習のときよりずっと動きが悪くなった。本数を重ねるにつれて動きが悪くなっていき、3本目の跳躍が最も悪かった。大会当日の悪天候が原因と考えられる。

女子走高跳

4位 中村真璃子(3) 1m60

150cmから試技を始めた。150cm、155cmは1回目でクリア。踏切が少し甘かったが、何とかクリアした。160cmは2回目でクリア。踏切に意識を集中させ、跳躍をした。165cmは失敗となった。3本目の跳躍は体がよく上がったが、ピークが合わず、惜しくも失敗跳躍となった。体が上がっているのに踏切位置が安定しないため、ピークが合わず失敗してしまう跳躍が多いので適切な踏切位置で踏み切れるように調整する技術が必要である。

男子棒高跳

10位 赤星栄治(1) 3m70

今回、棒が七大戦とは違い、14ft、150pdだったので中助走で短く持って反発をもらうことを意識したら良い跳躍ができた。3m90の1本目で高さは出ているのでアップライトを調整すれば成功すると思ったが、その後同じ跳躍をすることができなかった。雨の中での試合が初めてで、他の選手の見様見真似でテーピングを巻き直し、持つ位置

がずれたのが原因と思われる。

藤井大輝(3) NM

左足首の捻挫に不安を抱えながら挑んだ試合であった。予想通り踏切は満足のものではなく体が棒に振られてしまう跳躍になった。しかし、左足の負担になりづらい踏切を発見できたのは収穫といえる。まずは怪我を治すことを最優先にして練習に取り組んでほしい

男子走幅跳

6位 相澤一樹(1) 7m19 (+4.7)

1本目はファール。風を読めず、また空中動作も崩れた。しかし2本目のときに身体がさらに動くことを想定し30cm助走を下げ攻めたが、それが上手くいき今試合一番の跳躍ができた。空中動作も抱え込みまでまとめることができた。それ以降の跳躍はファールをしたり空中動作のミスをしたりと、記録を伸ばせなかった。技術面の弱点は徐々に改善されているが、安定した跳躍をする観点からは、今回は基礎体力の足りなさが目立った試合であった。

17位 藤井大輝(3) 6m84 (+5.3)

1本目 6m65。助走でスピードに乗れずピッチアップでもさらにスピードを落としてしまう跳躍となってしまった。

2本目 ファール。助走は安定し、ある程度スピードに乗れたもののピッチアップができず間延びした跳躍となった。

3本目 6m83。助走、ピッチアップともによくできていた。追い風参考記録の中ではベストであったので調子は悪くなかった。

26位 今泉裕真(3) 6m61 (+1.9)

全体的にキレのない動きで上半身と下半身の連動が上手くできていなかった。1,2本目は風が読みきれなかったのか、ファール。3本目は逆に足が届かず踏切直前で間伸びし助走を殺してしまうような跳躍となった。怪我からの復帰戦ということもあり、試合感覚が鈍っていること、練習が十分に積み

ていなかったことが原因と考えられる。

女子走幅跳

24位 門脇郁(2) 4m45 (+0.4)

1本目ファール。上半身が硬くなってしまいいりラックスした走りができなかった。2本目 4m45。肩に力が入らないよう努めたが、踏切での足の切り替えが遅かった。3本目ファール。踏切位置に違和感を覚え、着地姿勢までもっていくことができなかった。

男子三段跳

28位 松岡恭平(2) 12m95 (+0.3)

1本目 ファール。

2本目 12m80。助走を伸ばした。しっかりステップで地面を蹴ることができていた。

3本目 12m95。踏切板を踏まなかったが、ホップでしっかり距離を稼げて、ステップで地面を蹴れていた。ジャンプで減速して距離を伸ばせなかった。

32位 望月文太(3) 12m68 (+0.5)

練習跳躍の時点で助走が安定せず少し不安が残った状態で試合に臨んだ。1本目は助走が走れておらず、ファールはしなかったもののステップを踵から入り潰れた。記録は12m68。2本目は15cmくらいファールし、一本目と同じようにステップで潰れた。3本目はこの日の跳躍の中ではまだ走れてはいたがステップで潰れ、1本目の痛みもありジャンプまでもっていくことができなかった。

35位 須郷大地(1) 12m26 (+0.7)

1本目 ファール。

2本目 助走は合ったものの、ステップで前のめりになり、足が流れ、ジャンプへつなげることができず、記録なし。

3本目 12m26cm。ホップの後、足を素早く回すことができずステップで潰れてしまった。前傾はしていなかったためジャンプでは距離を出すことができた。

ホップの後の足を回す動作が遅いのが特に改善すべき点である。

女子三段跳

12位 渡邊朝美(M1) 10m85(+0.5)

助走はうまくまとめられたものの、風の影響もあってか1,2本目はファール。3本目は白旗があがるものの、記録計測の不備により記録は残らず追加試技をすることになった。4本目は踏切後の流れが最もよかったものの、ファール。記録を残すために臨んだ5本目は助走を下げ、若干足が合わない跳躍であったがシーズンベストを記録し、いい流れの感覚をつかめたようだ。

男子やり投

19等 新出悠介 44m72

強い追い風が吹くなかでの競技であったため、やりに角度が付きすぎないような投擲を心がけた。1投目は狙い通りの投擲ができ自己ベストの記録が望めたが、左足が僅かに白線を踏んでいたのがファールだった。2投目は白線を気にしたせいか、全ての動きが硬くて小さくなってしまい、やり先が上を向いてしまった。44m72。3投目も2投目と同様の投擲であった。試技の流れが最悪であったため、今後このようなことがないように試合の運びに気をつけたい。

男子十種競技

17位 鈴木輝彦(2) 4286点(追い風参考)

1日目は風が強く100mは+4.7で足を前で回すのに苦労したようだったが、自身初の11秒台ということもあり好調の滑り出しと言えた。しかし、幅跳びは風が強かったせいで足が合わず記録は伸びなかった。続く砲丸は練習不足による記録の不調。高跳びも風が強く足が合わず苦戦。400mは前半やや速いペースで入り後半失速。今後、ペース配分の見直しと走力アップを要する。

2日目はコンディションがかなり良く全て公認記録ではあったものの、110mHは8台目で躓き5歩でインターバルを走らざるを得なかった点が悔やまれる。円盤は練習不足のなかではよく投げられていた。棒高

跳では開始の高さである2m80も危ういと思われていたがPBを80cm更新し3m20を跳べた。やり投では現状で考えるパフォーマンスをほぼ発揮したといえるが荒削りな部分が否めない。最終種目1500mでは最初先頭集団のペースに乱されることなく落ち着いた走り出しであったが2周目のペースを上げなければならぬところでペースが落ちてしまったことにより目標タイムには程遠い結果となった。本人の予想以上に体力が残っていなかったのだろう。

女子七種競技

4位 渡邊朝美(M1) 3763点

初日、100mHはスタートから加速にのれない走りのままゴール。練習不足によりインターバルを刻むことができていなかった。HJは140までは落ち着いた跳躍だったが、145では跳び方が分からなくなってしまい、なんとかクリアするものの終了。SPでは一投目からいい流れで記録を伸ばしPBを記録。200mはまったく体が動いていなかった。

二日目、走幅跳はまとまりのある助走で無難にまとめたという感じであった。やり投は他種目との時間が被ってしまったことなどから一投目から修正が利かなかった。800mは消極的な走りで集団後方に位置したものの、最後の切り替えが利かずいいところのないレースであった。今回は他種目をメインとしていたことからどの種目も練習不足での競技となったようである。

◎OB・OG 対現役対校戦(10/1)・評定河原競技場

天候にも恵まれ、評定河原グラウンドで9月30日(土)にOB・OG戦が開催されました。競技種目として、100m、400m、1500m、走幅跳、砲丸投、やり投げ、スウェーデンリレーが行われました。結果を掲載します。

【男子 トラックの部+総合】

	氏名	100m (秒)	100m 得点	1500m (秒)	1500m 得点	400m (秒)	400m 得点	走最高 得点	総合 得点
1	藤井 佳祐	10.50	976					976	2107
2	山下 一也	11.13	833					833	2070
3	岩波 彦彦	10.87	891	279.07	687	54.45	622	891	1914
4	今泉 裕真	11.33	790					790	1849
5	鈴木 景	11.38	779					779	1815
6	堀越 涼	10.87	891					891	1742
7	川口 航汰	11.47	760	247.00	904	51.74	737	904	1693
8	相澤 一樹	11.10	839					839	1688
9	羽根田 佑真	11.16	826	312.28	492	53.16	676	826	1665
10	増野 巽哉	11.89	674					674	1663
11	佐藤 文哉	11.77	698					698	1655
12	荒田 啓輔			251.84	869			869	1649
13	加地 拓弥	11.54	745	277.76	695	53.32	669	745	1628
14	古川 楓	11.69	714					714	1612
15	勝井 友樹	11.33	790					790	1607
16	立野 佑太	12.26	602	247.44	900			900	1599
17	赤星 栄治	12.03	646	312.07	493			646	1580
18	鈴木 輝彦	12.02	648					648	1579
19	宇梶 和希	11.83	686	254.38	851	52.72	695	851	1564
20	工藤 航平	12.40	575					575	1561
21	須郷 大地	11.32	792					792	1550
22	鈴木 健大	11.74	704	312.87	489	54.76	609	704	1530
23	新出 悠介			314.95	478			478	1490
24	高倉 直幸	12.12	629	275.88	707			707	1489
25	村松 兼志	11.39	777	259.36	817	52.59	700	817	1478
26	井戸端 佑樹	10.97	868			55.01	599	868	1447
27	吉田 知将			258.17	825			825	1442
28	佐藤 宏夢			248.14	895			895	1427
29	松岡 恭平					56.95	524	524	1417
30	高橋 潤	12.33	589					589	1409
31	大衡 竜太	11.32	792					792	1403
32	山田 球児	11.58	737	316.35	470	55.72	571	737	1396
33	野尻 英史					59.55	430	430	1381
34	高橋 慧伍	12.37	581	278.00	694	56.75	531	694	1373

35	瀬木 悠	11.64	724	265.32	777	53.72	652	777	1289
36	田口 開斗			304.05	538	56.15	554	554	1284
37	千葉 智史	12.37	581	282.77	664	56.21	552	664	1276
38	浅見 大輔	12.29	596					596	1271
39	津田 恵吾	12.55	548	275.13	712	56.87	527	712	1267
40	川島 啓	11.98	656			52.74	694	694	1247
41	木村 秀			270.00	746			746	1184
42	三浦 兼士			270.07	745			745	1168
43	黒須 大地			266.92	766			766	1156
44	阿部 洸	12.24	606					606	1148
45	小林 丈士	11.48	758			55.30	588	758	1148
46	萩原 文博	12.50	557					557	1130
47	脇田 陽平	14.14	294	264.40	783	62.36	337	783	1082
48	宮崎 幸辰	10.10	1072					1072	1072
49	田沼 怜			263.33	790			790	1041
50	清水 大地	11.91	670					670	1038
51	寺島 智春			277.25	699			699	1032
52	森 渉	13.68	360	267.97	759	57.41	507	759	1025
53	谷口 尚大	12.64	532					532	1007
54	久保 正樹(OB)	13.18	439	325.61	422			439	1006
55	岡田 圭太			294.55	593			593	976
56	酒井 洋輔			265.18	778			778	967
57	松田 将大	12.50	557	249.41	886	53.53	660	886	886
58	南雲 信之介			249.58	885			885	885
59	本田 雄生			260.08	812			812	812
60	高橋 佳希			261.18	805			805	805
61	堀 拓磨			261.32	804			804	804
62	松浦 崇之			261.23	804			804	804
63	長田 公喜			262.51	796			796	796
64	三浦 大樹			264.04	785			785	785
65	古俣 諒大							0	772
66	早坂 謙児			266.52	769			769	769
67	上條 広裕希			272.50	729			729	729
68	瀬良 将太	11.69	714					714	714
69	吾妻 裕介			276.00	707			707	707
70	藤原 啓			284.70	652			652	652
71	真山 隆徳(OB)	15.89	99	345.94	325			325	560
72	竹内 喬亮			314.07	482	56.82	529	529	529
73	山田 将斗							0	528
74	竹内 喬亮			314.07	482			482	482
75	佐藤 泰河							0	413
76	芦田 周平							0	390

77	倉田 真樹								0	300
78	佐藤 源之(OB)								0	298
79	臼井 駿斗								0	263

【男子 フィールド】

	氏名	幅 (cm)	幅 得点	高 (cm)	高 得点	跳最 高得 点	砲丸 (m)	砲丸 得点	やり 投 (m)	やり 得点	投最 高得 点
1	藤井 佳祐	692	796	190	715	796	7.45	335	19.60	157	335
2	山下 一也	580	545	207	869	869	8.02	368			368
3	岩波 発彦	551	484	140	318	484	7.73	351	46.55	539	539
4	今泉 裕真	638	671	165	505	671	8.35	388	36.10	387	388
5	鈴木 景	609	607	175	586	607			39.05	429	429
6	堀越 涼	560	503	160	465	503	7.56	341	33.40	348	348
7	川口 航汰	566	515	160	465	515	6.41	274	22.20	192	274
8	相澤 一樹	519	420	170	545	545	6.93	304	28.70	282	304
9	羽根田 佑真	598	583	150	390	583	6.11	256	16.80	120	256
10	増野 巽哉	662	726	140	318	726	6.22	263	27.30	262	263
11	佐藤 文哉	593	572			572	6.67	289	35.95	385	385
12	荒田 啓輔	548	478	160	465	478			30.10	302	302
13	加地 拓弥	586	557	160	465	557	6.23	263	31.80	326	326
14	古川 楓	598	583	140	318	583	7.12	315	27.30	262	315
15	勝井 友樹			170	545	545	6.38	272			272
16	立野 佑太	532	446	150	390	446	6.06	253	14.90	95	253
17	赤星 栄治	519	420	175	586	586	7.67	348	32.90	341	348
18	鈴木 輝彦	592	570	150	390	570	6.83	298	34.30	361	361
19	宇梶 和希	488	361	130	251	361			33.65	352	352
20	工藤 航平	539	460			460	8.30	385	45.70	526	526
21	須郷 大地			140	318	318	9.22	440	30.90	313	440
22	鈴木 健大	543	468	165	505	505	7.22	321	24.80	228	321
23	新出 悠介	546	474			474			46.50	538	538
24	高倉 直幸	525	432	130	251	432	5.43	217	33.50	350	350
25	村松 兼志	535	452	150	390	452	5.29	209	19.50	156	209
26	井戸端 佑樹	596	579			579					0
27	吉田 知将			140	318	318			29.90	299	299
28	佐藤 宏夢	471	329			329			23.00	203	203
29	松岡 恭平	521	424	180	628	628	6.26	265	21.60	184	265
30	高橋 潤	513	408	175	586	586	5.73	234	16.90	121	234
31	大衡 竜太	611	611			611					0
32	山田 球児	507	397	130	251	397	6.21	262	21.90	188	262
33	野尻 英史	579	543			543			37.60	408	408
34	高橋 慧伍	534	450	150	390	450	5.64	229	23.55	211	229

35	瀬木 悠	509	401			401			16.10	111	111
36	田口 開斗			150	390	390	5.69	232	32.80	340	340
37	千葉 智史	514	410			410	5.17	202			202
38	浅見 大輔	515	412	140	318	412	6.23	263	19.30	153	263
39	津田 恵吾	446	284	120	189	284	6.37	271	17.80	133	271
40	川島 啓	467	322	130	251	322	5.68	231	21.15	178	231
41	木村 秀	414	230			230	5.28	208			208
42	三浦 兼士			130	251	251			20.70	172	172
43	黒須 大地			120	189	189	5.15	201			201
44	阿部 洸	506	395			395			18.85	147	147
45	小林 丈士			150	390	390					0
46	萩原 文博	410	223			223	7.71	350			350
47	脇田 陽平	358	143	120	189	189	3.56	110	12.30	62	110
48	宮崎 幸辰					0					0
49	田沼 怜			130	251	251					0
50	清水 大地	492	368			368					0
51	寺島 智春	338	115			115	5.45	218			218
52	森 渉	321	92			92	4.68	174			174
53	谷口 尚大	446	284	120	189	284	4.98	191	16.60	117	191
54	久保 正樹(OB)	468	324			324	5.89	243			243
55	岡田 圭太	395	199	130	251	251	3.95	132			132
56	酒井 洋輔			120	189	189					0
57	松田 将大					0					0
58	南雲 信之介					0					0
59	本田 雄生					0					0
60	高橋 佳希					0					0
61	堀 拓磨					0					0
62	松浦 崇之					0					0
63	長田 公喜					0					0
64	三浦 大樹					0					0
65	古俣 諒大	682	772	130	251	772					0
66	早坂 謙児					0					0
67	上條 広裕希					0					0
68	瀬良 将太					0					0
69	吾妻 裕介					0					0
70	藤原 啓					0					0
71	真山 隆徳	295	61			61	4.68	174			174
72	竹内 喬亮					0					0
73	山田 将斗			130	251	251	6.46	277	26.55	252	277
74	竹内 喬亮					0					0
75	佐藤 泰河					0	7.04	311	37.90	413	413
76	芦田 周平			150	390	390					0

77	倉田 真樹				0			30.00	300	300
78	佐藤 源之(OB)				0	6.82	298			298
79	白井 駿斗				0	6.23	263	27.00	258	263

【女子 トラックの部+総合】

順位	氏名	100m (秒)	100m 得点	1500m (秒)	1500m 得点	400m (秒)	400m 得点	走最高 得点	総合 得点
1	上條 麻奈	14.23	570	280.84	959	61.40	645	959	1664
2	佐貫 有彩	13.04	763			60.58	677	763	1634
3	泉屋 咲月	13.72	650					650	1434
4	須田 桜	15.80	353	307.98	775			775	1024
5	橋本 悠実	16.31	293	328.33	650			650	1018
6	阿部 春花	15.66	371	323.74	677			677	1012
7	柄澤 菜々美	14.95	465	390.60	332			465	940
8	星屋 美優	15.00	458	356.10	496			496	863
9	岸田 晶穂	17.82	145	361.57	468			468	695
10	中村 真璃子							0	622
11	渡邊 朝美							0	528
12	加藤 ひより	14.75	493			67.89	417	493	493
13	鈴木 日向子							0	297

【女子 フィールドの部】

	氏名	幅 (cm)	幅 得点	高 (cm)	高 得点	跳最高 得点	砲丸 (m)	砲丸 得点	やり (m)	やり 得点	投最高 得点
1	上條 麻奈	459	452	130	410	452	5.30	228	18.00	253	253
2	佐貫 有彩	467	473			473	7.96	398	22.50	336	398
3	泉屋 咲月	445	417	140	513	513	5.79	259	19.00	271	271
4	須田 桜	277	71			71			13.90	178	178
5	橋本 悠実	325	152			152	3.59	122	16.00	216	216
6	阿部 春花	333	168	100	142	168	4.32	167	8.10	73	167
7	柄澤 菜々美	363	228	110	223	228	5.60	247			247
8	星屋 美優	310	125			125	5.52	242			242
9	岸田 晶穂	261	49			49	4.34	168	13.90	178	178
10	中村 真璃子	498	555	150	622	622					0
11	渡邊 朝美					0	9.96	528			528
12	加藤 ひより					0					0
13	鈴木 日向子	395	297			297					0

<当日評定河原にいらしたOB・OGの方々（敬称略）>

伊藤弘昌、島田哲男、佐藤源之、真山隆徳、渡邊裕生、原弘一、久保正樹、和泉俊介、吉田真人、吉沢協平、照井智子、開井隆文、小釜莉代

平成 29 年 10 月吉日

三秀会会員の皆様

三秀会主務 村山 友理

平成 29 年度秋保マラソンのご案内

拝啓

清秋の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より三秀会並びに東北大学学友会陸上競技部の運営にご協力くださいますこと誠にありがとうございます。さて、今年度も秋保マラソンを下記の日程で開催いたします。お忙しいとは存じますが、皆様方多数のご参加をお待ちしております。

敬具

記

日 時：11 月 11 日(土) 9:00 受付開始
10:45 開会式
11:00 マラソンスタート
13:30 昼食
14:00 表彰式

場 所：仙台市太白区秋保地区周辺

コ ー ス：4 km、9 km、18 km

参 加 費：3000 円

申込締切：平成 29 年 10 月 17 日(火)

申込方法：お名前・ご連絡先・参加コース・送迎バスの利用の有無をご記載の上、三秀会主務の村山までご連絡ください。送迎バスは行きについては 8 時に東北大学川内キャンパス萩ホール前出発、帰りについては 15 時 45 分にホテルニュー水戸屋様出発を予定しております。送迎バスは片道 300 円程度の予定です。

申 込 先：東北大学学友会陸上競技部 三秀会主務

村山 友理

E-mail：newf.2119@gmail.com

TEL：080-2671-8014

以上

◎自己ベスト更新者(8/1~9/25)

- | | | | |
|-------------|-------------------|-------------|-----------------|
| ・男子 100m | | ・男子 10000m | |
| 白鳥 海知(3) | 11"01(+1.7) (東医体) | 松浦 崇之(2) | 31'15"64(個人選) |
| ・男子 200m | | 藤原 啓(4) | 33'09"88(個人選) |
| 高須 秋(1) | 23"39(-0.1)(個人選) | 本田 雄生(M1) | 31'56"53(個人選) |
| 白鳥 海知(3) | 22"03(+0.6) (東医体) | 南雲 信之介(6) | 31'33"32(個人選) |
| ・男子 400m | | ・男子 10000mW | |
| 瀬木 悠(1) | 52"54(個人選) | 寺島 智春(1) | 45'52"91(26 大戦) |
| ・男子 800m | | ・男子走幅跳 | |
| 宇梶 和希(2) | 1'58"22(26 大戦) | 藤井 大輝(3) | 6m72(+0.4) |
| 立野 佑太(2) | 1'57"19(個人選) | ・男子走高跳 | |
| ・男子 3000mSC | | 藤井 大輝(3) | 1m75(個人選) |
| 南雲 信之介(6) | 9'30"43(26 大戦) | ・女子走高跳 | |
| ・男子 5000m | | 中村 真璃子(3) | 1m62(個人選) |
| 若林 郁生(2) | 17'34"13(個人選) | ・男子棒高跳 | |
| ・女子 5000m | | 赤星 栄治(1) | 3m70(26 大戦) |
| 須田 桜(3) | 18'17"30(26 大戦) | ・男子十種競技 | |
| 阿部 春花(3) | 19'46"94(26 大戦) | 工藤 翼(4) | 5702 点(個人選) |

◎今後の予定

- ・10月29日 第35回杜の都全日本大学女子駅伝 ……仙台
- ・11月5日 第49回全日本大学駅伝対校選手権大会 ……熱田~伊勢
- ・11月11日 秋保マラソン ……仙台秋保温泉 ホテルニュー水戸屋(仙台市)
- ・12月3日 三秀総会 ……東京 (詳細は次号に掲載予定)

<訃報>

前幹事長宮崎鉄男さん(S43卒)が8/26にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

◎編集後記

今号からOB・OG通信担当となりました、平野慎也と申します。東北大学学友会陸上競技部の活躍をOB・OGの皆様へ分かりやすくお伝えできるよう精進してまいりますので、1年間よろしくお祈りいたします。

先日の選考会では東北大学男子チームが5年連続となる全日本大学駅伝出場を決め、東北大部記録の更新と他の地方国公立大学に勝つという目標に向け、練習に励んでいます。また全パート新体制となり、多くの自己ベストを目指し、より一層努力して参ります。

OB・OGの皆様、引き続きたくさんのご声援をよろしくお願い申し上げます。

文責 副務 平野慎也

東北大学陸上競技部三秀会

〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1

東北大学評定河原グラウンド内

hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp